



新キリン舎建設始まります

平成24年夏の猛暑ではアウトドア系の動物園としては大きな痛手を被りましたが、平成25年もなんじゃコレの猛暑が平成24年よりも1週間早く全開モード。動物もバテ気味ですが、飼育員も事務所に入ってくる時は大粒の汗を滴らせています。気象学的事実はまったくの素人ですし地球的規模でどうなってるかもわかりませんが、平成24年といい、スワ温暖化の影響なのでしょう。個人的には寒いより暑いほうが好きなのですが、熱帯夜はウンザリです。



もうあがれませんか

そんな中、いよいよ新しいキリン舎の建設工事が始まります。ここ数年リニューアルが続いていますが、クマ舎や震災復旧の小獣舎以来2年ぶりの園内工事となります。今のキリン舎は昭和44年に建設され建築後44年経過した建物です。このため老朽化が著しく、特に雨漏りにより乾草倉庫が水浸しになるなどの被害に悩まされてきました。専門家の話では一過性の応急処置では済まないとのこと。また、鉄骨の腐食や床面のひび割れなども進み、いずれ建て替える必要性は検討されてきました。そこへ、オスのシゲルのもとヘメスのキリナのお嫁入りの話です。繁殖も期待されることから一気に話は具体性を帯びたという次第です。



今のキリン舎



たっぷり入った雨水

新しい獣舎はこれまでより部屋数を一つ増やし3部屋にするとともに、予備パドックを新たに設け、繁殖時や動物の不測の事態にも対応できるような構造となっています。また、来園者にも配慮し、寝室収容時には2階からも観覧ができるような廊下を設け、さらに建物に突き出たデッキを餌付け場として整備し、キリンと同じ目線でエサやりが体験できるような施設となります。老朽化対策で始まる工事ですが、完成時には一連のリニューアルと同じレベルで楽しんで頂けるものと期待されます。工事は平成26年の春までとなりますが、心配なこともあります。工事期間中のキリンへの影響です。



シゲル（左）とキリナ

工事は、今のグラウンドを約半分に仕切り、先に新獣舎を建設しその後キリンを移動させて旧獣舎を撤去する方法をとるのですが、その間獣舎への出入りがスムーズに行えるかという点。それと、引越しがうまくいくかという点。ゾウのグラウンドリニューアルの時も、ゾウを飼育しながらの工事で色々懸念されましたが、獣舎そのものは何も変わらなかったのが引越しの心配はありませんでした。動物たちの警戒心の強さは私たちにはなかなか理解できないところですが、新しいものへの抵抗感はかなり強いものがあります。自分たちの臭いのついたものを前もって入れておいたり色々工夫しながらやっていくしかないのでしょうか、いずれにしても平成26年春の完成を今から楽しみにして頂きたいと思います。

なお、工事期間中一部通行の制限される場所もありご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



来春完成予定。

「どうぶつのくに」連載中の「あつかみね動物園だ！」VOL. 4
よかったらこちらからどうぞ…[「どうぶつのくに」](#)（新しいウインドウが開きます）

2013年7月14日
